

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～ “みんなごと” のまちづくり推進事業  
「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター 派遣業務  
事業実施報告書

<総括>

<業務報告>

1. 派遣業務広報
2. 登録者の選定、受付業務
3. マッチングコーディネート
4. 研修
5. 会計

2017年4月

事業実施者：特定非営利活動法人きょうとNPOセンター

## <総括>

平成28年度の『～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣業務』では、「もうひとつの働き方」をキーワードにこれまでのような、お手伝いや人数としてのボランティアではなく、仕事や生活の中で培われた知識・技術・経験を活かした市民活動支援・社会貢献として、「まちづくり・お宝バンク」の取組提案者の支援を行うべく、市民サポーターを募った。

結果として、合計61名の方のサポーター登録、および8団体へ16名のサポーターの派遣を行った。それ以外にも、市民活動に初めて関わるサポーター向けの研修会やサポーター派遣を受けた団体との交流会も行った。特に京都府行政書士会とは、サポーターの団体登録だけではなく、様々な場面で協力関係を築くことができた。

団体の依頼に寄り添いながらの本質的な問題解決、サポーターの登録及び育成や派遣をどのように行っていくかなど、手さぐりでの事業実施となった。交流会などでは、団体、サポーターの双方から、サポーターのスキルのカタログ化や見える化といった仕組の実現、サポーター側への事前の団体情報の提供、サポーターと団体が交流できるマッチングイベント等の仕掛けを設けてほしいなどの要望の声もあった。また、新たな派遣先の開拓など、次年度以降に実現すべき課題も明らかとなった。

### ①「サポーター派遣」を実施することによる効果

派遣団体からの感想で多かったのが、「自分たちだけでは解決できなかった課題の解決に取り組むことができた」という声だった。また、市民活動を支援する各種施設や専門家の存在があまり知られていないという事実が派遣を行う中で分かった。サポーター派遣を実施することにより、各団体等が市民活動を支援できる組織や専門家の存在を知り、課題解決に前向きに取り組んでいただけるようになったことが最大の効果だと考える。

### ②「サポーター派遣」事業にかかる課題

サポーター派遣の課題は、限られた派遣回数の中で、どこまでの支援を実施できるか分からないことだと考える。サービスグラントが実施しているプロジェクト型のプロボノ事業とは違い、成果がしっかり出るかどうかは支援団体の取り組む姿勢が大きく関係する。また、各団体が、サポーターの支援を受けて課題の解決に取り組んでも、その後の活動に支援内容が活かされないということが起こる可能性も考えられる。

サポーター派遣制度として、行った支援が団体の力量の上昇に役立ったということを測定する基準が必要であり、その測定する仕組みを制度に組み込むべきかではないかと考えている。

### ③「サポーター派遣」の展開に関する意見

派遣団体とサポーターをマッチングするためには、団体に寄り添い丁寧に対応する必要があると感じている。②と重複する部分もあるが、丁寧に対応しなければ、専門家のスキルを消費していきただけで、成果が出ないということが起こると考えている。そのため、しっかりと成果目標を設定するとともに、その実行までの支援を行う必要がある。また、団体とサポーターと一緒に作業を行うプロジェクト型の派遣を検討する必要もあると考えている。

# 1. 派遣業務広報

## 実施内容

### 1. 派遣業務に関する広報

#### (1) サポーター募集チラシの作成

デザイナーの協力を得て、サポーター募集用チラシを2、500部作成し、市内公共施設を中心に配架。

限られた紙面の中で手に取って興味を持ってもらうためのキャッチフレーズのライティングも依頼して作成した結果、「もうひとつの働き方」というキャッチフレーズに興味を持ったという方もいた。



## (2) 法人HP告知ページの作成、SNSページの作成

事業開始後の7月にきょうとNPOセンター（以下、当センター）のホームページ上に、当事業の紹介ページを作成し公開。京都市が運営する「“みんなごと”のまちづくり推進事業」のホームページとのリンクも行った。8月には、Facebookに事業紹介のページを立ち上げた。

(ホームページ)

特定非営利活動法人  
きょうとNPOセンター

市民・行政が協働！～“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター募集

登録日：2017年4月14日 新着

Facebookへ共有 Twitterへ共有 Google+へ共有

**「もうひとつの働き方」目指しませんか？**

- みなさんの持つ、知識、技術、経験は地域でも活かれます！
- みなさんの住むまちでは市民による様々な活動が行われています。でも時には壁もあります。そんな時、みなさんの持つ力があれば壁を乗り越えることができます。
- 地域で課題解決に取り組み団体にサポーターとして入りお悩みを解決し、地域の課題を解決することに貢献できます。
- みなさんにとっても地域活動に参加するきっかけや新たな経験へのきっかけにも！
- 派遣の際にはコーディネーターによる国語との置き合わせ、NPO・市民活動に関する講習などもしっかりサポート

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～“みんなごと”のまちづくり推進事業(「まちづくり・お宝バンク」)市民サポーター派遣は、「まちづくり・お宝バンク」取組提案者団体に対して、多彩な市民の力を活かした課題解決の実現支援策として実施します。

市民サポーターの派遣により、派遣依頼があった団体の活動が発展するだけでなく、派遣される市民サポーターにも、知識・技術・経験が役に立つことで、やりがいや達成感に加えて、お命を顧くのはひとと味違う「もうひとつの働き方」のおもしろさを感じていただけます。

(Facebook ページ)

みんなごとのまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター

@minnagotosupporter

ホーム  
ページ情報  
写真  
いいね!  
投稿  
ページを編集

いいね!  
コメント  
シェア

メッセージを送る

写真

コミュニティ

友達に「いいね！」をリクエスト

みんなごとのまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」市民サポーターの情報を発信するページです。

いいね! 48件  
真鍋 拓可さん、他26人が「いいね！」しました

基本データ すべて見る

メッセージ送信  
kyoto-npo.org  
コミュニティ  
所有権情報

日本語 English (US) Español  
Português (Brasil) Français (France)

プライバシー 規約 広告 Ad Choices 著作権  
その他  
Facebook © 2017

ttptk/www.facebook.com/1571523223142793/photos/1572485726379876/

(3) 行政書士会での制度説明、ソーシャルビジネス研究会でのNPO・市民活動についてのレクチャー  
【実施日：①第1回：平成28年10月26日、②第2回：11月27日】

京都府行政書士会企業法務部が主催されている、ソーシャルビジネス研究会の第1回研修会において、サポーター制度の説明を行った。第2回では、京都市内のNPO・市民活動などの現状を紹介した。

研修会終了後には、サポーターの登録受付を行い、サポーター登録者を募った。名刺交換で話をさせていただいたことをきっかけに、サポーターにご登録いただいた行政書士の方もいた。

(4) その他

平成28年9月2日には、京都中小企業家同友会で事業の紹介とサポーター登録の案内を行った。

## 2. 登録者の選定、受付業務

実施内容

(1) 登録者の選定、受付業務

サポーター登録者数 61名（一般36名、行政書士会25名）

内訳：男性46名（一般28名、行政書士会18名）

女性15名（一般8名、行政書士会7名）

登録いただいた知識・技術・経験（重複あり）

<input type="checkbox"/> 会計	13名（一般4名、書士会9名）
<input type="checkbox"/> NPO法人事務	18名（一般9名、書士会9名）
<input type="checkbox"/> 組織診断・基盤強化	12名（一般8名、書士会4名）
<input type="checkbox"/> 人材育成	12名（一般9名、書士会3名）
<input type="checkbox"/> 資金調達	18名（一般9名、書士会9名）
<input type="checkbox"/> ボランティアマネジメント	8名（一般8名）
<input type="checkbox"/> 組織マネジメント	18名（一般13名、書士会5名）
<input type="checkbox"/> 事業マネジメント	23名（一般15名、書士会8名）
<input type="checkbox"/> 広報	11名（一般6名、書士会5名）
<input type="checkbox"/> デザイン	5名（一般4名、書士会1名）
<input type="checkbox"/> 外国語・異文化	3名（一般3名）

サポーター登録者および知識・技術・経験については上記の通り。

サポーターへの個別連絡については、電話、メールの順にてやり取りを行い、全員共通の案内やお知らせに関してはメール配信サービスのBENCHMARK(<https://www.benchmarkemail.com/jp/>)を利用し一斉送信を行った。

### 3. 研修

#### 実施内容

##### (1) サポーターへの研修

サポーターへの研修は、きょうとNPOセンター常務理事の平尾剛之を講師として2回実施した。

第1回：平成28年11月30日（水）19：00～21：00

第2回：平成29年1月21日（土）14：00～16：00

参加者は、第1回が10名、第2回が3名だった。

前半は、市民活動とプロボノの意義をテーマに公共サービスのおかれている現状や、NPO・市民活動の実態について、サポーター（プロボノ）の意義、役割、支援すべき内容などについて説明した。後半では、サポーターとして団体を訪問する際の留意点などについて、組織評価やエンパワーメントの視点とサポーターのリスク管理の視点から説明を行った。研修に参加ができなかったサポーターには、ビデオ撮影した研修をデータにて提供した。



##### (2) 団体・サポーター交流会

団体とサポーターの交流会を3月4日（土）13：30～16：30に開催し、サポーター及びお宝バンク登録団体のメンバー、合計20名が参加した。前半では制度の説明、実際に派遣を受けた団体の感想を団体メンバーに話してもらった。派遣の具体的な流れやそのために団体が準備したことなどを知らせていただき、他の団体の制度利用の促進を目指した。

発表団体の二人には、派遣を受ける前の団体の課題への取組状況、派遣前の気持ちや、実際に派遣を受けた際の感想などを中心に話をさせていただいた。

##### <発表団体>

京都景観フォーラム 事務局 小林 明音 さん

京都フェアリー 代表理事 藤山 愛 さん

後半では、実際に派遣されたサポーターからのアンケートをもとに団体に派遣された感想を紹介し、サポーターに、派遣に必要な準備などを知らせていただくことを目指した。事前のアンケート



トやその後の会場のやり取りの中では、事前にサポーターの方が、自主的に団体情報を調べていたということや、派遣前の想像よりも課題のレベルが高かったといった意見が出た。

終了後には簡単な交流会を行い、団体、サポーター、NPOセンター職員が交流し、お互いを知ることができる良い機会となった。

#### 終了後アンケート意見（抜粋）

- ・サポートを受けられた団体の背景が聞けて良かった。
- ・サポーターの見える化をして欲しい。
- ・どういう形のサポートをしていけばよいのかわかった気がする。
- ・他の参加者とお話できてよかった。
- ・サポーターの事前の努力に感銘を受けた。
- ・最初にアイスブレイクの時間をとって良かったのでは。
- ・仲間づくりをしたいので、勉強会・交流会をもっと大人数で開いてほしい。

